

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 株式会社 ガーラ

上場取引所 東

コード番号 4777 URL <http://www.gala.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO (氏名) 菊川 暁

問合せ先責任者 (役職名) 国内子会社管理部門担当部長 (氏名) 藤田 公司

TEL 03-5778-0321

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	610	△68.7	△283	—	△201	—	△249	—
25年3月期第3四半期	1,949	△41.4	△634	—	△641	—	△601	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △369百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △498百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△22.99	—
25年3月期第3四半期	△56.64	—

※当社は、平成25年5月15日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株式制度を採用いたしました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	488	△84	△37.9	△16.59
25年3月期	722	188	13.2	8.95

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 △185百万円 25年3月期 95百万円

※当社は、平成25年5月15日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株式制度を採用いたしました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純資産金額を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業が立ち上げ段階にあり、アプリの開発や提供が予定どおりに進まない可能性が高く、また、オンラインゲーム事業における、新規タイトルのサービス開始や既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であることから、業績予想の公表を差し控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	11,173,300 株	25年3月期	10,623,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	11,173,300 株	25年3月期3Q	10,623,000 株

※当社は、平成25年5月15日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株式制度を採用いたしました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、P.3 「1. 当四半期に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料については、決算発表後にホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績の概況は、連結売上高 610,682千円（前年同四半期比68.7%減）となり、大幅な減収となりました。

これは、当社グループの主力事業であるオンラインゲーム事業の欧米子会社を前第3四半期連結累計期間をもって株式譲渡により連結から除外した影響、データマイニング事業国内子会社を前第1四半期連結累計期間をもって株式譲渡により連結から除外した影響及びオンラインゲーム事業の主力ゲームの売上高が中国を除き全地域で減少したことによるものであります。

また、従前より販売費及び一般管理費の削減を進めておりますが、スマートフォンアプリ事業の開発費用の計上により、営業損失283,708千円（前年同四半期営業損失634,189千円）、経常損失201,494千円（前年同四半期経常損失641,618千円）四半期純損失249,049千円（前年同四半期純損失601,646千円）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度に欧州子会社Gala Networks Europe Ltd.を連結子会社から除外したことにより、第1四半期連結会計期間から「欧州」セグメントはありません。また、前連結会計年度に南米子会社Gala-Net Brazil Ltd.を連結子会社から除外したことにより、「米州」を「米国」に名称変更しております。

#### ① 日本

日本セグメントでは、経営効率化を目的に(株)ガーラジャパンのオンラインゲームパブリッシングサービスを韓国子会社Gala Lab Corp.に移管し、オンラインゲーム運営の一部業務をGala Lab Corp.から受託により提供するビジネス構造に変更し、(株)ガーラジャパンは大幅に規模縮小化を図りました。また、前第1四半期連結累計期間をもってデータマイニング事業会社(株)ガーラバズを株式譲渡により連結から除外しているため、当第3四半期連結累計期間の日本セグメントにおける主な売上高は(株)ガーラウェブのその他事業（ホームページ制作・保守、コミュニティ関連サービス）となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、当社、(株)ガーラジャパン及び(株)ガーラポケットのスマートフォンアプリ事業におけるアプリのサービス開始に向けた準備を前連結会計年度から継続して実施しており、(株)ガーラポケットでは、コミュニケーションアプリ「Pleez」（プリーズ）をリリースいたしました。

また、その他事業において、平成25年10月から「オンライン戦略MG」がビジネスゲーム実習の授業の教材として、北海道立の商業高校を中心にご利用いただいております。

これらの結果、日本セグメントにおける売上高は136,680千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で347,737千円（71.8%）の減収となり、セグメント損失が223,075千円（内部取引を含む。前年同四半期は232,260千円の損失）となりました。

② 米国

米国セグメントでは、スマートフォンアプリ事業子会社Gala Innovative Inc.で、前連結会計年度からゲームアプリの開発に向けた準備を進めておりましたが、第1四半期連結累計期間において、事業資金不足や人材確保が困難になるなど経営状況が悪化し、事業活動の継続が難しい状況となったことから、第2四半期連結累計期間に事業活動を停止いたしました。このため、当第3四半期連結累計期間における米国セグメントの売上高の計上はありません。セグメント損失は39,092千円（内部取引を含む。前年同四半期は205,677千円の損失）となりました。

なお、米国子会社における事業再開は当面予定しておりません。

③ 韓国

韓国セグメントでは、Gala Lab Corp.のオンラインゲーム事業で日本向けのオンラインゲームパブリッシングが移管されたことにより、各地域における主力ゲームの売上高は減少傾向にあるものの、第1四半期連結累計期間から日本向けの売上高が増加要因となり、売上高は519,645千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で84,155千円（19.3%）の増収となりましたが、セグメント損失が7,499千円（内部取引を含む。前年同四半期は121,251千円の損失）となりました。

なお、Gala Lab Corp.において、スマートフォンアプリ事業でゲームアプリ「Dungeons & Golf」（ダンジョンズ&ゴルフ）のiOS英語版のサービス提供を当第3四半期連結会計期間に開始いたしました。また、Android版等の開発を引き続き進めており、平成26年1月に日本語でのサービス提供（サービス提供会社はAppBankGames(株)）を開始いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて273,294千円減少し、84,519千円の債務超過となりました。

主な増減は、資産では現金及び預金が194,962千円減少し、長期性定期預金が47,005千円減少し、受取手形及び売掛金が37,444千円減少し、前払費用が34,566千円増加いたしました。負債では未払金が31,199千円増加し、短期借入金が24,996千円増加し、その他固定負債が21,583千円増加いたしました。純資産では資本金及び資本剰余金がそれぞれ44,320千円増加し、利益剰余金が249,049千円減少し、また、為替換算調整勘定が120,116千円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業が立ち上げ段階にあり、アプリの開発や提供が予定どおりに進まない可能性が高く、また、オンラインゲーム事業における、新規タイトルのサービス開始や既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であることから、業績予測の公表を差し控えさせていただいております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失820,547千円及び当期純損失2,268,566千円を計上しております。また、当第3四半期連結累計期間においても売上高は610,682千円、前年同四半期比68.7%減少となり、営業損失283,708千円及び四半期純損失249,049千円を計上し、当第3四半期連結会計期間末で、84,519千円の債務超過となっております。現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループでは、当該状況を早期に解消又は改善すべく対応策に取り組んでおりますが、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

当社グループでは、当該状況等を解消し、または改善するための対応策として、① スマートフォンアプリのライセンス取得と各種言語版の開発とその提供、② 組織体制及び人員配置の見直し、③ 資金繰りについて取り組んでおります。

当社グループの対応策の詳細は「4. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記)」に記載しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	362,961	167,998
受取手形及び売掛金	129,085	91,640
前払費用	14,837	49,403
その他	9,388	16,395
貸倒引当金	△324	△270
流動資産合計	515,948	325,168
固定資産		
有形固定資産	2,027	3,328
無形固定資産		
ソフトウェア	14,319	26,670
ソフトウェア仮勘定	—	4,494
権利金	10,734	—
その他	168	144
無形固定資産合計	25,222	31,309
投資その他の資産		
長期預金	47,005	—
長期貸付金	76,500	94,081
破産更生債権等	23,062	23,062
敷金及び保証金	50,310	31,595
その他	3,117	479
貸倒引当金	△20,303	△20,303
投資その他の資産合計	179,692	128,916
固定資産合計	206,942	163,553
資産合計	722,890	488,722
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,737	4,838
短期借入金	42,000	66,996
1年内返済予定の長期借入金	3,360	16,000
未払金	59,086	90,285
未払費用	49,429	55,929
前受金	41,848	49,038
未払法人税等	16,184	1,111
賞与引当金	5,310	1,837
その他	70,139	52,074
流動負債合計	301,096	338,111
固定負債		
長期借入金	10,080	—
長期前受収益	88,880	79,525
退職給付引当金	100,617	100,578
その他	33,441	55,025
固定負債合計	233,019	235,129
負債合計	534,115	573,241



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,171,582	2,215,902
資本剰余金	700,041	744,361
利益剰余金	△2,402,919	△2,651,969
株主資本合計	468,703	308,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	114	127
為替換算調整勘定	△373,726	△493,843
その他の包括利益累計額合計	△373,611	△493,715
新株予約権	93,683	100,901
純資産合計	188,775	△84,519
負債純資産合計	722,890	488,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,949,485	610,682
売上原価	446,136	183,855
売上総利益	1,503,348	426,827
販売費及び一般管理費	2,137,537	710,535
営業損失(△)	△634,189	△283,708
営業外収益		
受取利息	4,241	2,978
為替差益	—	80,657
その他	1,974	2,756
営業外収益合計	6,216	86,392
営業外費用		
支払利息	4,992	3,680
為替差損	2,100	—
特別退職金	3,252	—
その他	3,299	498
営業外費用合計	13,644	4,179
経常損失(△)	△641,618	△201,494
特別利益		
新株予約権戻入益	15,273	4,231
関係会社株式売却益	279,127	—
契約解除益	—	5,045
その他	19,224	—
特別利益合計	313,625	9,276
特別損失		
減損損失	55,430	15,959
本社移転費用	—	2,164
その他	4,373	—
特別損失合計	59,803	18,123
税金等調整前四半期純損失(△)	△387,796	△210,341
法人税、住民税及び事業税	9,154	14,927
過年度法人税等	—	23,780
法人税等調整額	215,606	—
法人税等合計	224,760	38,707
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△612,556	△249,049
少数株主損失(△)	△10,910	—
四半期純損失(△)	△601,646	△249,049

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△612,556	△249,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,053	12
為替換算調整勘定	100,683	△120,116
その他の包括利益合計	113,736	△120,103
四半期包括利益	△498,820	△369,153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△489,880	△369,153
少数株主に係る四半期包括利益	△8,939	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

当社及び連結子会社(以下、「当社グループ」という。)は、前連結会計年度において営業損失820,547千円及び当期純損失2,268,566千円を計上しております。また、当第3四半期連結累計期間においても営業損失283,708千円及び四半期純損失249,049千円を計上し、当第3四半期連結会計期間末で84,519千円の債務超過となっております。現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を早期に解消又は改善すべく、以下の対応策を実施してまいります。

まず、スマートフォンアプリ事業において平成25年4月にライセンス取得したアプリのグローバル展開に向けて、Gala Lab Corp.でゲームアプリの開発を進めており、平成25年12月に一部のサービス提供を開始し、すべてのサービス提供に向けて準備を進めております。(株)ガーラポケットでも新規アプリの開発及び新規ビジネスの準備を進めております。今後もアプリタイトルの増加や新規ビジネスによる収益力の向上を図ってまいります。

また、グループ全体で大幅な人員及び経費の削減を実施し、スリム化を図っております。今後も必要に応じて経営の効率化を図るため、組織体制及び人員配置の見直しを実施してまいります。

資金繰りにつきましては、平成25年9月17日に第三者割当増資を実施しましたが、当面の厳しい事業環境を乗り越えるべく、取引金融機関に対して引続き協議を進めてまいります。また、重要な後発事象にも記載のとおり、平成26年1月10日開催の取締役会において、第三者割当による新株式の発行について決議し、平成26年1月27日付で払込を受けており、更なる増資による資金調達も検討してまいります。

以上の施策を実施するとともに、今後も引続き有効と考えられる施策については、積極的に実施してまいります。

しかしながら、これらの改善策を実施してもなお、今後の売上高及び利益の回復は、組織体制の見直し、スマートフォン向けアプリケーションの開発の進捗状況、市場投入の時期、環境の変化等に左右されることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、当社グループの四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成25年9月17日付で、菊川曉氏(当社代表取締役)から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が44,275千円、資本準備金が44,275千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が、2,215,902千円、資本剰余金が744,361千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	韓国	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	321,006	475,987	969,304	183,187	1,949,485	—	1,949,485
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	163,411	143	△46	252,301	415,811	△415,811	—
	484,418	476,130	969,258	435,489	2,365,296	△415,811	1,949,485
セグメント損失(△)	△232,260	△205,677	△68,995	△121,251	△628,185	△6,003	△634,189

(注) 1. セグメント損失の調整額△6,003千円は、セグメント間取引消去△6,003千円であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「米州」セグメントについて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において55,430千円(うち、のれんの減損損失は21,124千円)であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	韓国	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	105,469	—	505,212	610,682	—	610,682
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	31,210	—	14,432	45,643	△45,643	—
計	136,680	—	519,645	656,325	△45,643	610,682
セグメント損失(△)	△223,075	△39,092	△7,499	△269,667	△14,041	△283,708

(注) 1. セグメント損失の調整額△14,041千円は、セグメント間取引消去△14,041千円であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

前連結会計年度に、欧州子会社Gala Networks Europe Ltd.を連結子会社から除外したことにより、第1四半期連結会計期間から「欧州」セグメントはありません。また、南米子会社Gala-Net Brazil Ltd.を連結子会社から除外したことにより「米州」を「米国」に名称変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメント及び「米国」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において、「日本」セグメント14,612千円、「米国」セグメント1,346千円であります。

(重要な後発事象)

第三者割当による新株式の発行

当社は、平成26年1月10日開催の取締役会において、第三者割当による新株式の発行について決議し、平成26年1月27日付で払込を受けております。

なお、本新株式の発行概要は以下のとおりであります。

(1) 発行した新株式の種類及び数	当社普通株式	416,000株
(2) 払込金額	1株につき	240円
(3) 払込金額の総額		99,840,000円
(4) 増加した資本金及び資本準備金の額	増加した資本金	49,920,000円
	増加した資本準備金	49,920,000円
(5) 払込期日	平成26年1月27日	
(6) 割当先及び割当株式数	菊川暁(当社代表取締役)	416,000株
(7) 資金使途	①当社事業資金	
	②連結子会社Gala Lab Corp.の スマートフォンアプリ事業資金	

これにより、平成26年1月27日時点で資本金2,265,822千円、資本剰余金794,281千円となりました。